

iPlayer 3 アイプレイヤー 3

ユーザーガイド 取扱説明書

この度はiPlayer 3 (アイプレイヤー 3)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このユーザーガイドではiPlayer3の主要な機能、操作方法について説明しています。取付方法に関しては別紙「iPlayer3取付方法」をご参照ください。

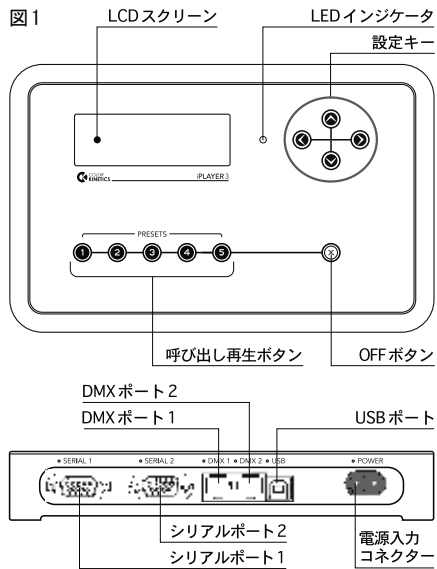
この商品に含まれているもの

- ・ iPlayer 3 本体
- ・ 電源ケーブル
- ・ USB ケーブル
- ・ 取り付け用プレート
- ・ ユーザーガイド

1. iPlayer 3 の基本機能

- ・ 本体のスイッチで演出の呼び出し再生(最大5つ)
- ・ 再生中のショーの輝度調整
- ・ Color Play 3 で作成、ダウンロードされた演出の呼び出し
- ・ iPlayer 3 に内蔵されている演出効果の呼び出し再生
- ・ タイマーによる演出の呼び出し再生
- ・ DMX アドレスの設定、チェック

2. 本体の構成



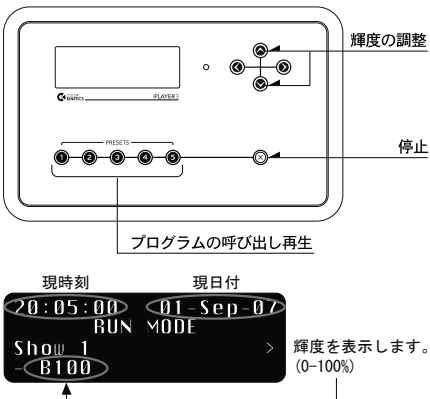
3. 本体の操作

本製品は接続状態によって3つのモードに切り替わります。コントローラ単体で演出の再生を行っている場合にはRun Mode (再生モード)、本体のボタンを使用して設定を行なう場合にはConfig Mode (設定モード)、USBでパソコンと接続している場合にはUSB Mode となります。Run Mode、Config Mode の場合、本体のボタン操作は以下の図のようになります。USB Mode についてはColorPlay 3のユーザーガイドをご参照ください。

3-1. Run Mode (再生モード)

電源を投入すると自動的にRun Mode が立ち上がります。フロントパネルの呼び出しスイッチを使用して5つまでの演出の呼び出しとその輝度の調整が可能です。LEDインジケータには先頭アドレスのライトの点灯色が確認できます。

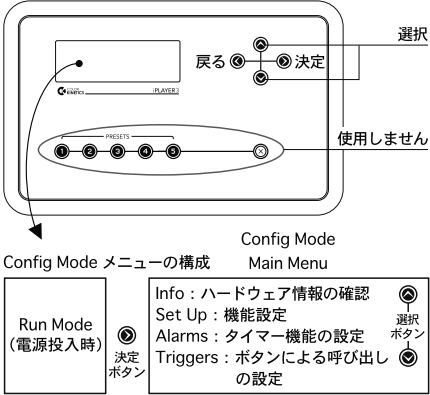
図2 Run Mode 時のボタン設定



3-2. Config Mode (設定モード)

呼び出しを行うプログラムの設定や、その他機能の設定はConfig Mode で行います。Run Mode から決定ボタンを押すことでConfig Mode のメインメニューに切り替えます。メインメニューには以下の4つがあります。

図3 Config Mode 時のボタン設定



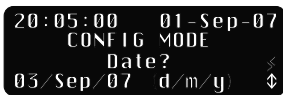
4. 設定

4-1. 日時設定

Config Mode から“Set Up”を選択し、さらにSet Up Menu から“Set Date & Time”を選択します。



画面にしたがって、まず年月日を日、月、年の順で入力します。上下のキーで数字を合わせて右のキーで決定/次の項目へ移動します。続いて同様に曜日、時、分、秒と入力していきます。入力が完了すると、“Set Date & Time”の画面に戻ります。



4-2. 呼び出し設定

本体の呼び出しボタンを使用して、再生する演出の選択、設定を行います。シリアルポートからオプションのキーパットを使用して呼び出しする場合も、同様の設定を行います。設定には、ColorPlay 3 で作成して、iPlayer3

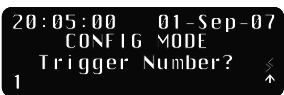
工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

にダウンロードした演出 (Downloaded Show) を呼び出す方法と、iPlayer3に内蔵されている演出 (Canned Effect) を呼び出す方法の2つがあります。

出荷時には
①カラーウォッシュ (5秒)
②クロスフェード 緑⇄青 (10秒)
③クロスフェード 黄⇄赤 (10秒)
④レインボー (5秒)
⑤スイープ (DMX 1 黒のバックに緑、DMX 2 黒のバックに赤 85秒)
のデータが入っています。

4-2-1 . Downloaded Show の呼び出し設定
あらかじめColorPlay 3を使用してiPlayer3に演出がダウンロードされていることをご確認ください。

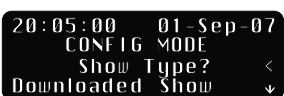
1. Config Mode から“Triggers”を選択します。“Trigger Number?” と表示されるので、設定したいトリガーナンバー (呼び出しボタンの番号) を選択して決定ボタンを押します。



注意

本体で呼び出しが可能なトリガーは1~5までですが、トリガーナンバーは最大255まで設定が可能です。オプションのキーパッドを使用すると、8つの演出を呼び出す事が可能になります。キーパッドは最大で2台まで接続可能です。キーパッド接続時の設定に関しては4-5「1.シリアルポートの設定」の項をご参照ください。

2. “Show Type”で“Downloaded Show”を選択すると、“Show File?”と表示されます。上下の選択キーでダウンロードされている演出のファイルネームが表示されるのでその中から1つを選んで決定します。“Press>to Continue”でもう一度決定キーを押して次に進みます。



3. 次に演出終了後の動作設定をします。以下の3つから選択することが可能です。

- ・ Loop This Show (ループ: 繰り返し)
- ・ Light off (1回再生後消灯します。)
- ・ Jump to Trigger (別のショーへジャンプ (ジャンプ後はリビートになります))

3-A Loop This Show の設定

End Behavior で“Loop This Show”を選択します。次に“Transition time”(呼び出し方法)の設定をします。呼び出し方法は次の3つより選択可能です。

- ・ Cross Fade (クロスフェード)
- ・ Fade out & in (フェードアウトしてからフェードイン)
- ・ Snap (スナップ: 瞬時に切り替わり)

Cross Fade と Fade out & in を選択した場合には

次の画面で切り替るまでの時間を設定します。まず、Trans time(min) ? で分を入力し、決定後にTrans time(Sec) ? で秒を入力します。決定をすると“Save changes?” が表示されるので決定キーを押して終了します。“Snap”を選択した場合には移行時間の設定はありません。

3-B Light offの設定

End Behavior で“Light off”を選択します。次に“Transition time”(呼び出し方法)の設定をします。以降の詳細については3-Aをご参照ください。

3-C Jump to triggerの設定

End Behavior で“Light off”を選択します。“Jump to trigger#?”画面でジャンプするトリガーを選択します。次に“Transition time”(呼び出し方法)の設定をします。以降の詳細については3-Aをご参照ください。

4-2-2 . Canned Effect (内蔵演出パターン) 呼び出し設定

1. Config Mode から“Triggers”を選択します。“Trigger Number?” と表示されるので、設定したいトリガーナンバー (呼び出しボタンの番号) を選択して決定ボタンを押します。



注意

本体で呼び出しが可能なトリガーは1~5までですが、トリガーナンバーは最大255まで設定が可能です。オプションのキーパッドを使用すると、8つの演出を呼び出す事が可能になります。キーパッドは最大で2台まで接続可能です。キーパッド接続時の設定に関しては4-5「1.シリアルポートの設定」の項をご参照ください。

2. “Show Type”の表示画面で“Canned Effect”を選択します。“Effect Type?” と表示されるので選択キーを使用して設定したいエフェクトを選択します。



エフェクトは以下の中から選択できます。

- ・ Fixed Color (固定色)
- ・ Cross Fade (クロスフェード)
- ・ Rainbow (レインボー)
- ・ Random Color (ランダムカラー)
- ・ Sparkle (スパークル)
- ・ Color Sweep (カラースイープ)
- ・ Color Streak (カラーストリーク)

2-A-1 Fixed Colorの設定

“Effect Type?” の表示画面で“Fixed Color”を選択し決定キーを押します。次に固定色のベースとなる色を選択します。



“Fixed Base Hue”の表示画面で以下の中から選択します。

- ・ Red (赤)
- ・ Yellow(黄)
- ・ Green (緑)
- ・ Cyan (シアン)
- ・ Blue (青)
- ・ Magenta (マゼンタ)

次に選択したベース色の微調整を行います。まず、“Fixed Hue Adjust”の表示画面で、上下キーを押すことで、ベース色の色相を調整することが出来ます。LEDインジケータの色を見ながら調整してください。続いて同様にSaturation (彩度)とBrightness (輝度)の調整も行い、決定キーを押します。

2-A-2 テスト及び、呼び出し方法の設定

“Test Effect”が表示されたら、決定キーを押して設定したエフェクトのチェックを行います。実際のライトが接続されている場合は、設定した演出を再生します。確認が完了したら、決定キーを押して次に進みます。

次に“TransitionType”で呼び出し方法の設定をします。

呼び出し方法は次の3つより選択可能です。

- ・ Cross Fade (クロスフェード)
- ・ Fade out & in (フェードアウトしてからフェードイン)
- ・ Snap (スナップ: 瞬時に切り替わり)

Cross Fade と Fade out & in を選択した場合には次の画面で切り替るまでの時間を設定します。まず、Trans time(min) ? で分を入力し、決定後にTrans time(Sec) ? で秒を入力します。決定をすると“Save changes?” が表示されるので決定キーを押して終了します。“Snap”を選択した場合には移行時間の設定はありません。

2-B Cross Fade の設定

“Effect Type?”の表示画面で“Cross Fade”を選択し決定キーをおします。次にスタートカラーのベースとなる色を選択し調整を行います。色の選択方法は2-A-1 Fixed Colorの設定をご参照ください。続いて同様にエンドカラーの色も設定します。色の調整が終わると次に時間の調整を行います。まずHold Time(min) ” と表示されるので、選択した色の保持時間の分を入力し、続いて“Hold Time(sec)”で秒を入力します。次に“Fade time(min)”でフェードに要する時間を分で、Fade time(sec)で秒を入力します。次に“Offset?”の表示画面でオフセットの設定をします。オフセット時間の設定をすると、複数のアドレス間でフェード時間にずれが発生し、流れるような演出が可能になります。

これで演出の設定が完了するので、決定キーでテスト、呼び出し方法の設定に移ります。以降の手順は2-A-2をご参照ください。

2-C Rainbow の設定

“Effect Type?” の表示画面で“Rainbow”を選択し決定キーをおします。次に1サイクルの時間を設定します。Time(min) で分を、続いてTime(sec)で秒を入力します。次に“Offset”でライト間の色のずれを設定します。ここを0にするとカラーウォッシュになります。最後に“Direction”で色の循環方向を決定します。“RGB up”にすると色の流れる順番は赤→緑→青となり、“RGB down”にするとその反対となります。以降の詳細は2-A-2をご参照ください。

2-D Random Color の設定

“Effect Type?” の表示画面で“Random Color”を選択し決定キーをおします。次に一色当りの保持時間 (Hold time)と次の色への移行時間 (Fade time) を分 (min) 秒 (sec)の順で入力します。次に“Offset”でライト間のフェードのずれを設定します。最後に“Color Count”で表示する色の種類を決定します。(最大127色まで)
以降の手順は2-A-2をご参照ください。

2-E Sparkle の設定

“Effect Type?” の表示画面で“Sparkle”を選択し決定キーをおします。次に、前景色 (スパークル色) を設定します。色の設定方法に関しては2-A-1をご参照ください。前景色の次は同様に背景色の設定を行います。次に“Density?”で密度の設定をします。この数値が大きいと、一度にスパークルするドットの数が多くなります。次に、スパークルのフェードタイムを設定します。“Fade Time(min)” で分を、続いて“Fade Time(sec)”で秒を設定します。以降の手順は2-A-2をご参照ください。

2-F Color Sweep の設定

“Effect Type?” の表示画面で“Color Sweep”を選択し決定キーをおします。次に、前景色 (スイープ色) を設定します。色の設定方法に関しては2-A-1をご参照ください。前景色の次は同様に背景色の設定を行います。次に効果の時間を設定します。“Time(min)” で分を、続いて“Time(sec)”で秒を設定します。以降の手順は2-A-2をご参照ください。

2-G Color Streakの設定

“Effect Type?” の表示画面で“Color Streak”を選択し決定キーをおします。次に、前景色 (ストリーク色) を設定します。色の設定方法に関しては2-A-1をご参照ください。前景色の次は同様に背景色の設定を行います。次に効果の時間を設定します。“Time(min)” で分を、続いて“Time(sec)”で秒を設定します。最後に“Width?”でストリークを行うライトの数を設定します。以降の手順は2-A-2をご参照ください。

4-3. タイマー (Alarm) の設定

iPlayer3では最大15個までの異なる呼び出し時間の設定を行うことができます。呼び出しの方法には以下のタイプがあります。

- ・ Specific Month/Day: 指定した日付による呼び出し
- ・ Weekends: 週末のみの呼び出し
- ・ Weekdays: ウィークデイのみの呼び出し
- ・ Everyday: 毎日呼び出し
- ・ Sunday ~ Saturday : 曜日を指定した呼び出し

又、演出を開始する時間については時刻を指定する方法 (Time of Day) と日の出又は日の入りの時刻 (Astronomical) からスタートさせる方法があります。Astronomical を使用する場合、あらかじめお使いになる場所の緯度、経度を設定する必要があります。設定方法については4-5「2.緯度、経度の設定」をご参照ください。

注意

全てのアラームは後押し優先で呼び出しを行います。優先度を個別につけることは出来ません。